

滝川高校SSH通信

発行：2019年8月6日 SSH・理数科 第15号

理数科1・2年学習強化合宿 in 深川

8/2(金)～8/4(日)

この合宿は、自主自律・自学自習が基本です。自分自身が乗り越えるべき課題を見つけ、学習計画を立て、目標を設定し、主体的に学習に取り組むことを目指しました。自主的な学習と学習習慣の定着、集団での生活および、学習活動を通しての協働学習を目的に、例年、夏と冬に、理数科1・2年生(希望者)を対象に、ネパール深川(青年の家)で実施しています。今年度、参加者は全部で44名。2泊3日で、22時間20分の学習に臨みました。



ネパール深川「青年の家」職員の方よりガイダンス



大講義室での自学自習の様子(自調自考)



中会議室で、質疑を交わし問題を解き合う生徒たち



2日目の夜には「北大問題演習」の講義も行われた。

〔生徒の感想一部抜粋〕

- いつも、勉強をしようとする、数学や英語ばかりしがちですが、他教科もしっかりと取り組むことが出来ました。家では、ここまで時間を詰めて勉強をすることもなかったので、よい機会になりました。
- 予想以上にいい合宿になりました。ひたすら解いたりするのは大変でしたが、勉強の力はもちろん、忍耐力や、集団生活をする力が鍛えられてよかったです。来年もこの機会を活かして、自分の力を高めたいです。戻ってからも、勉強に集中できるように環境を整えようと思います。
- 勉強時間はとてもしんどかったけど、こんなに勉強をしたことがなかったので、よい経験でした。今後に活かしていきたいです。

SSHの主な活動は随時滝川高校ホームページに掲載いたします。